

白い巨塔

観賞日 2022年7月11日 上映時間 149分

【概要】

制作 1966年 大映

監督 山本薩夫

原作 山崎豊子

脚本 橋本忍

音楽 池野成

撮影 宗川信夫



出演 田宮二郎（財前五郎）、田村高廣（里見脩二）、東野英治郎（東貞蔵）、小沢栄太郎（鶴飼雅行）
滝沢修（船尾巖）、船越英二（菊川昇）、藤村志保（東佐枝子）、長谷川待子（財前杏子）
加藤嘉（大河内清作）、加藤武（野坂）、下條正巳（今津）、鈴木瑞穂（関口弁護士）

【あらすじ】

1960年頃の大阪。浪速大学医学部助教授の財前五郎は神の手を持つ外科医として、マスコミにも取り上げられる存在であった。野心家の財前は翌年3月に退官する恩師の東教授の後任教授選挙に挑む。しかし、肝腎の東教授の覚えが悪く楽観は許されない状況であった。教授選挙は基礎16票、臨床15票合計31票を巡る激しい戦い。拮抗する情勢。飛びかう利権とカネ。虚々実々の駆け引き。総てを巻き込んだ総力戦。その裏で、秘かに進行する医療ミス事件。何とか、僅差で当選し念願の教授の座を手に入れた財前であったがそれも束の間、今度は医療ミスで訴えられる。そして、終盤は一気に緊迫した法廷劇に突入。果たして裁判の行方は・・・。

スピーディーな展開。象牙の塔に鋭いメスを入れた文芸大作。度々映像化された問題作。とにかく面白い。

【解説】

■ポイント

●最高のスタッフ

製作：永田雅一

原作：ベストセラー作家、山崎豊子の同名小説。

財前五郎を演じた俳優：佐藤慶、田宮二郎（テレビ版）、村上弘明、唐沢寿明他

脚本：シナリオ界の巨人、橋本忍

監督：娯楽映画の巨匠 山本薩夫（山崎作品を他にも撮る）

華麗なる一族（1974年）、不毛地帯（1976年）

■見どころ

●多様な対立軸を設定した巧みな構成

財前 vs 里見、浪速大学（大阪）vs 東都大学（東京）vs 山陰大学、権威 vs カネ、
医学界の大立者 vs 地域医師会（開業医）、教授 vs 助教授 vs 医局員、医師 vs 患者

●田宮二郎演じる財前五郎（田宮の当たり役）

悪役にもかかわらず何故か魅力的

財前五郎という人物の魅力か田宮の演技力か

●光る脇役陣：強烈な個性

石山健二郎（財前又一）：財前五郎の義父、小川真由美（花森ケイ子）：財前五郎の愛人

●オープニングとエンディングの教授の総回診シーンは白い巨塔を象徴するシーン